

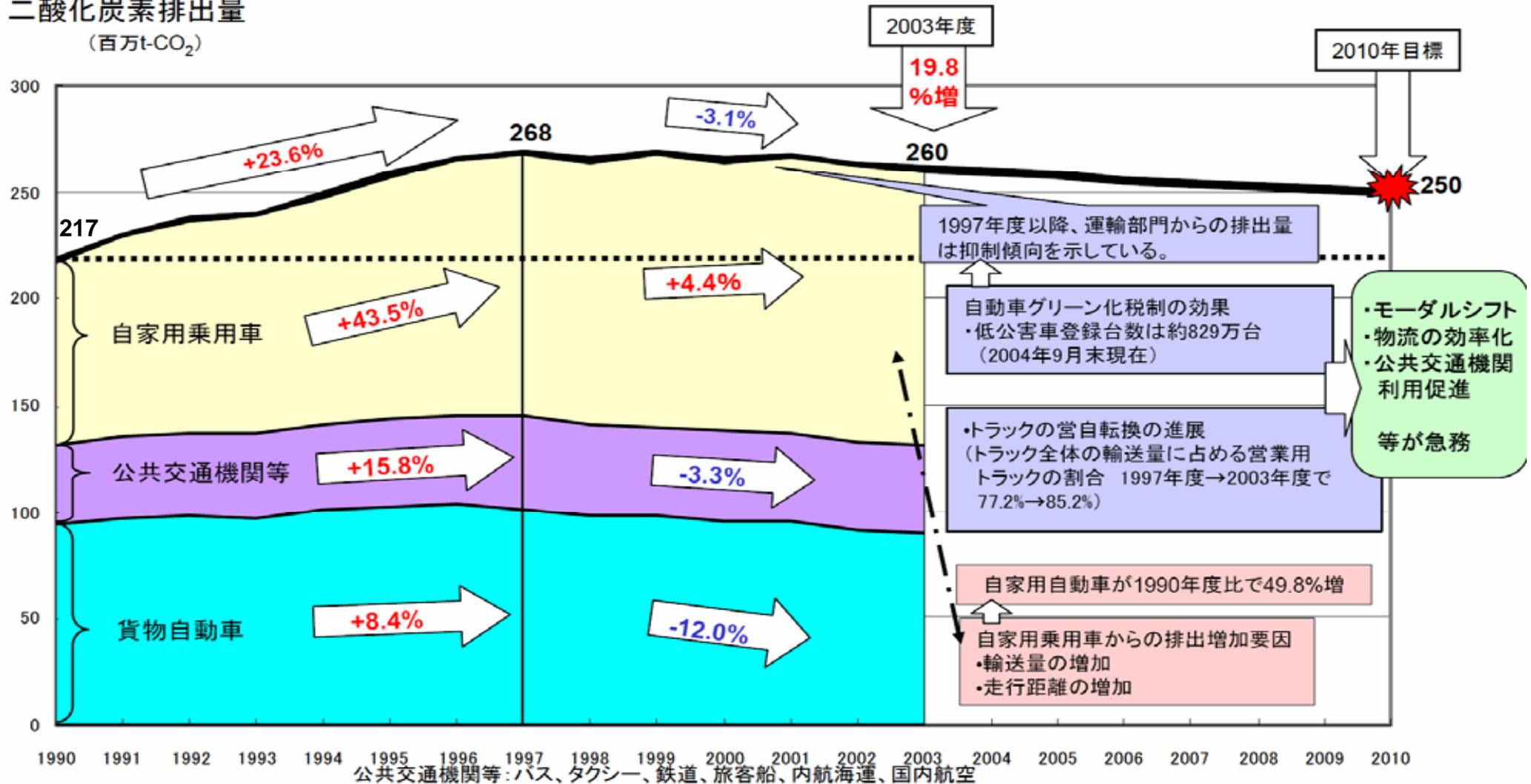
# グリーン物流パートナーシップ会議について

平成17年9月

国土交通省 政策統括官付  
政策調整官(物流担当)

# 運輸部門における二酸化炭素排出量の推移

二酸化炭素排出量  
(百万t-CO<sub>2</sub>)



# 環境負荷の小さい物流体系の構築を目指す実証実験

## 認定実績

	認定件数	内訳			CO2削減量 (計画)	補助申請額	施策効果
		鉄道へのシフト	海運へのシフト	トラック効率化	t-CO2	千円	t-CO2/百万円
14年度	7	4	3	0	23,606	141,310	167.1
15年度	35	30	5	0	35,656	229,797	155.2
16年度	32	22	7	3	33,594	237,351	141.5
合計	74	56	15	3	92,856	608,458	152.6

- ・ 3年間で74件を認定
- ・ 76%が鉄道へのモーダルシフト
- ・ CO2削減量9万3千トンは、東京23区の約3割の面積を植林する効果に匹敵

制度の詳細については

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/butsuryu-jisshoujikken.html>

# グリーン物流パートナーシップ会議を通じた取組の促進

荷主企業の積極的な参加による取組の裾野の拡大  
荷主・物流事業者の協働によるCO2排出削減計画の策定  
関係省庁の連携による積極的な支援

## グリーン物流パートナーシップ会議

JILS 日本物流団体連合会 経済産業省 国土交通省 日本経済団体連合会

荷主企業・流通事業者  
および各業界団体

物流事業者  
および事業者団体

監査法人等 シンクタンク 研究機関 研究者  
国の地方局 地方自治体 その他

### グリーン物流モデル事業

補助金による支援  
(経済産業省 / 国土交通省)

### CO2排出量算定手法の作成

多様な取組に応じた算定手法  
の策定と標準化

### 普及・広報

優良事例の選出とP R  
普及拡大に向けた広報

トラック輸送効率化



荷主別ラックの活用とトラック大型化により多数荷主の幹線輸送を共同化

国際複合一貫輸送



フラットラックコンテナを活用しJRの12ft汎用コンテナによる国際一貫輸送を実施

複数荷主によるモーダルシフト



複数荷主の参加により大規模にモーダルシフトを実施

3PL事業による物流最適化



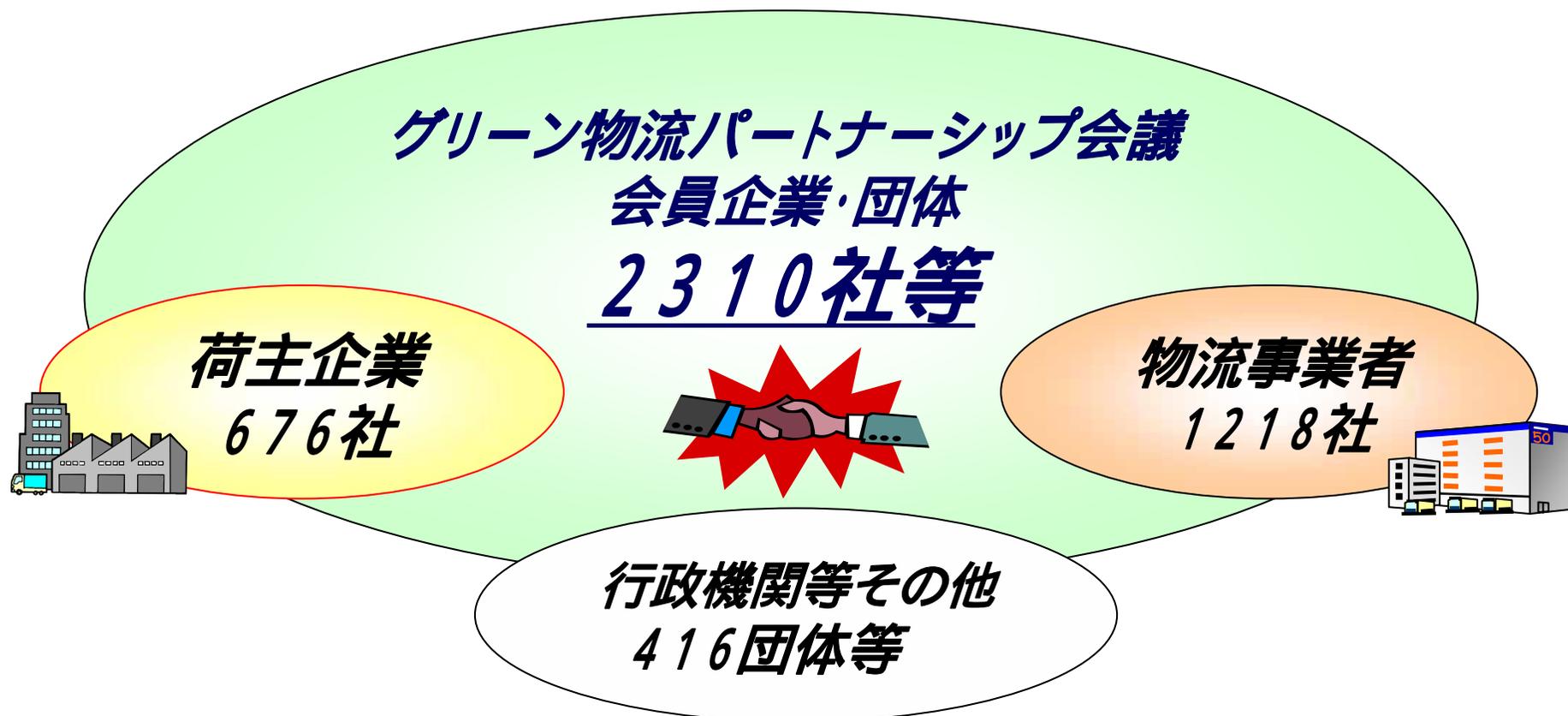
物流拠点整備により保管・輸配送を総合的に効率化し、物流システムを最適化

# グリーン物流パートナーシップ会議会員登録状況

平成17年2月1日より、会員登録の受付を開始。

(登録受付は現在も継続実施中)

平成17年8月31日現在にて、2310の企業、団体等が会員登録済。



# グリーン物流モデル事業

## 提案されるモデル事業構想

- 荷主と物流事業者のパートナーシップにより実施される物流改善策。
- 物流事業において排出されるCO2の削減・環境負荷の低減が明確に見込まれる。
- 複数荷主または複数物流事業者の参加が見込まれる。
- 以上の要件等を満たす事業をグリーン物流パートナーシップ会議モデル事業として選定。
- 平成17年度については、応募のあった65件のうち33件を9月2日に推進決定。

## 補助制度の適用

- 「グリーン物流モデル事業」に選定され、一定の要件を満たす事業について国土交通省と経済産業省の認定後、両省の補助制度を利用できる。
- H17年度補助金予算 国交省：約3億円 経産省：約5億円
- H18年度についても経産省と引き続き連携。NEDO事業への応募見込み額約30億円程度。経済産業省予算額20億円。(計約50億円程度)

## 当面のスケジュール

- モデル事業は、グリーン物流パートナーシップ会議専用ウェブサイト上で公表。  
<http://www.greenpartnership.jp>
- 今冬、第3回グリーン物流パートナーシップ会議を開催し、モデル事業の推進状況およびCO2簡易マニュアルを発表する予定。

# 今後のスケジュール案

